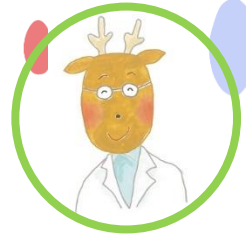


性感染症に関する豆知識② HIV/エイズ編



- 原因はヒト免疫不全ウイルス(Human Immunodeficiency Virus: HIV)。
予防は性行為の最初からコンドームをつけることですが、完全には予防できません。
- HIVに感染して2～4週間後にかぜやインフルエンザのような症状が出ますが、自然に治まります。その後、症状が出ない期間が続きますが、その間も他人にうつす危険があります。
- HIVは感染力の弱いウイルスなので、日常的な生活での接触では感染しません。
せき・くしゃみ・蚊に刺される・プール・お風呂・ハグ・軽いキス・トイレの便座などでは感染しません。
- HIVに感染して治療しないと数年後に体力や抵抗力の低下による色々な病気が発生します。そのような状態をエイズ(AIDS)といいます。
- 感染したかと思ったら、男女とも保健所や内科に相談しましょう。女子は産婦人科、男子は泌尿器科でもいいです。パートナーにも話をして検査を受けてもらいましょう。



性感染症に関する豆知識 HIV/エイズ編



●検査方法：一次検査で採血し、結果が陽性なら二次検査で再度採血します。
一次検査では 10 万人の検査で 150 人が陽性となりますが、そのうちの 4 人が本当の陽性で残りは偽陽性（本当は陰性）です。

●治療は専門の内科医で飲み薬をもらいます。毎日きちんと飲むことが大切です。
飲み続けないと、悪化してしまいます。

一昔前は、不治の病のように言われていましたが、現在はウイルスをコントロールできれば、一般の人とほぼ同じくらいに長生きできます。

HIV は妊娠中・出産時・授乳中に母子感染しますが妊娠初期にわかればお母さんの治療をしていくので赤ちゃんの感染をほぼ防ぐことができます。（感染率＝約 0.4％）

HIV の母子感染予防には妊婦さんに HIV 検査を行うことが必要不可欠です。
妊婦健診での HIV 検査は公費です。初期から適切に妊婦健診を受けましょう。

